

実施年度	: 2024 (2025 入試) 年度
試験日	: 2024 年 11 月 10 日
入試種別	: 3 年次編転入学試験問題
学部・研究科	: 文学部 歴史学科 文化遺産学専攻
科目名	: 専門科目

### 【解答又は解答例】

問 遺跡や建造物、美術作品などの文化財を一つ取り上げて、時代や特徴、成立背景について概要を述べ、あわせてその文化財を取り巻く現状と課題について論じなさい。

解答例：文化遺産の対象となる文化財には、考古学分野の遺跡や出土遺物（考古資料）、建築史分野の建造物、美術史分野の絵画や工芸品などの美術作品などがある。これらは、いずれも時（時代）や場所（国や地域）によって特徴ある歴史・文化の姿を今日まで留めている物的証拠（モノ）のうち、時代と地域の特徴を良く残した代表例・典型例として専門機関が指定・登録などした文化財資料群である。本設問では、受験生自身が興味ある、もしくは関心がある文化遺産の資料を一つ選んで、それが作られた時代、地域、製作背景を正確に把握しているか、そしてその資料が、その資料群の代表例もしくは典型例として文化財指定もしくは登録されている時代と地域性の特徴を問う。そのうえで、時代によって文化財や文化遺産を取り巻く社会状況は大きく異なっている。特に、資料そのものは歴史・文化の証言者であるため、調査・研究自体は過去の状況を解き明かす歴史学の分野であるとともに、今後、どのように守り・伝える必要があるかの問題意識は大切である、受験生がその点をどの程度未来志向の学問分野であるかを知るための設問にもなっている。

本設問は、知識確認型であるとともに、用語説明や定義、さらに文化遺産とは今日的な問題をはらんでいる点をどの程度正確に把握しているか、受験生の問題意識を簡潔かつ正確に記述できるかを問う問題でもある。

採点のポイントは、受験生が取り上げた文化財について正しい知識を有しているのか、取り巻く現状と課題についてどれだけ問題意識を有しているのかについて、自分自身の考えがしっかり述べられているのかをチェックした。そのうえで、当該研究分野に関する今後の研究の展望についてどの程度自身の考えがあるのかも併せて採点材料とした。勿論、誤字、脱字、誤用は減点の対象に加えた。